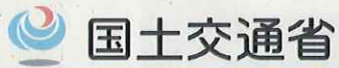


# 境港湾現地視察会(海上視察)

令和5年7月12日  
国土交通省中国地方整備局  
境港湾・空港整備事務所



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

## 本日の運航ルート

- (A班)  
① 栄町物揚場  
↓  
② 外港昭和北地区  
↓  
③ 外港昭和南地区  
↓  
④ 外港中野地区  
↓  
⑤ 外港竹内南地区  
↓  
⑥ 竹内物揚場

- (B班)  
⑥ 竹内物揚場  
↓  
⑤ 外港竹内南地区  
↓  
④ 外港中野地区  
↓  
③ 外港昭和南地区  
↓  
② 外港昭和北地区  
↓  
① 栄町物揚場



- 鳥取県と島根県の両県にまたがる港湾区域を有し、中国地方の日本海側随一の国際貿易港。
- 北を島根半島により遮蔽された静穏な海域に、日野川水系で行われた「たたら製鉄のかんな流し」による膨大な砂が堆積し、弓ヶ浜半島が形成され、静穏な海域と平坦な土地を持つ天然の良港。
- 港湾管理者は境港管理組合。(1958年設立、管理者：鳥取県知事、副管理者：島根県知事)
- 鳥取県側：39バース(水深4.5m～14m)、島根県側：7バース(水深4.5m～9m)



境港は昭和26年に重要港湾に指定され、平成23年には日本海側拠点港湾に選定された。境港の背後圏には製紙工場や合板製造工場が立地し、その原料となる木材チップや原木は境港を輸入拠点とし、製造した製品はコンテナ貨物として境港から輸出されている。また、隠岐諸島と結ぶ定期フェリーも就航しており、離島住民の生活を支えている。更に、令和2年には、大型クルーズ船の受入にも対応した外港竹内南地区貨客船ターミナルが供用を開始するなど、山陰地域における物流・人流拠点として重要な役割を担っている。

**江島地区**

<主な取扱貨物>  
バルク貨物(移入:原木)  
江島1号岸壁(水深9.0m)  
江島2号岸壁(水深7.5m)

**内港地区**

フェリー 隠岐諸島  
内港4号岸壁(水深6.5m)

**外港昭和北地区**

<主な取扱貨物>  
バルク貨物(輸入:PKS、移入:セメント、重油)  
外港1号岸壁(水深9.0m)  
外港2号岸壁(水深7.5m)

**外港中野地区**

<主な取扱貨物>  
バルク貨物(輸入:原木)  
(大型クルーズ船)  
中野岸壁(水深12.0m)

**外港竹内南地区**

内航RORO船  
大型クルーズ船  
竹内南1号岸壁(水深10.0m)

**外港昭和三地区**

<主な取扱貨物>  
コンテナ貨物(輸出:紙・パルプ、輸入:鉄鋼)  
バルク貨物(輸入:木材チップ、バイオマス燃料)  
(大型クルーズ船)  
昭和三1号岸壁(水深13.0m)  
昭和三2号岸壁(水深10.0m)  
昭和三3号岸壁(水深7.5m)  
昭和三4号岸壁(水深13.0m)

- 境港における主な取扱貨物は、木材チップや原木の輸入、石油製品の移入である。
- また、輸出では、紙・パルプ、木製品が多い。
- 全体取扱貨物量、コンテナ取扱貨物量ともに横ばい傾向であるが、近隣で建設中のバイオマス発電所が2022年からの稼働を開始したことで、バイオマス燃料(PKS、木質ペレット)が増加している。

## 全体取扱貨物量

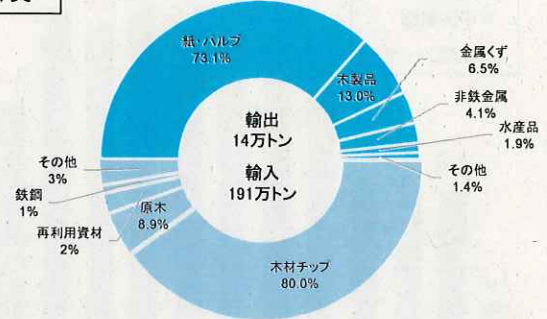


## コンテナ取扱貨物量

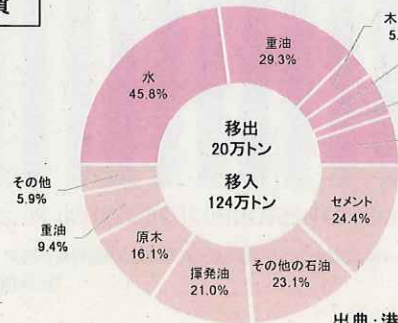


## 取扱貨物の内訳(2022年)

### 外貨



### 内貨



出典：港湾管理者提供資料 4

# 境港国際コンテナターミナルの概要

- 2004年、岸壁水深14m(暫定水深13m)で供用開始。
- 2021年11月より、日本海側初の国際フィーダー航路が就航。
- 2023年7月より、ガントリークレーン2基体制に増強。



荷役機械	ガントリークレーン(2台) 1号機:定格荷重 35.6t・アウトリーチ 28.5m 2号機:定格荷重 35.6t・アウトリーチ 32.8m※2023年7月供用開始	
	ジブクレーン(1台) 最大制限荷重 34.1t・作業半径 10.5m~32.0m	
	トップリフター(1台) 能力 40R・32t・コンテナ3段積	
コンテナ上屋(CFS)1棟	1,760㎡	
コンテナ上屋 くん蒸倉庫(2棟) ※くん蒸の種類 黄酸ガス・臭化メチル	20Rコンテナ型(2基)特A	床面積:13㎡ 内容積:30㎡
	40Rコンテナ型(1基)特A	床面積:27㎡ 内容積:62㎡
冷凍コンテナ電源設備	440V32基	

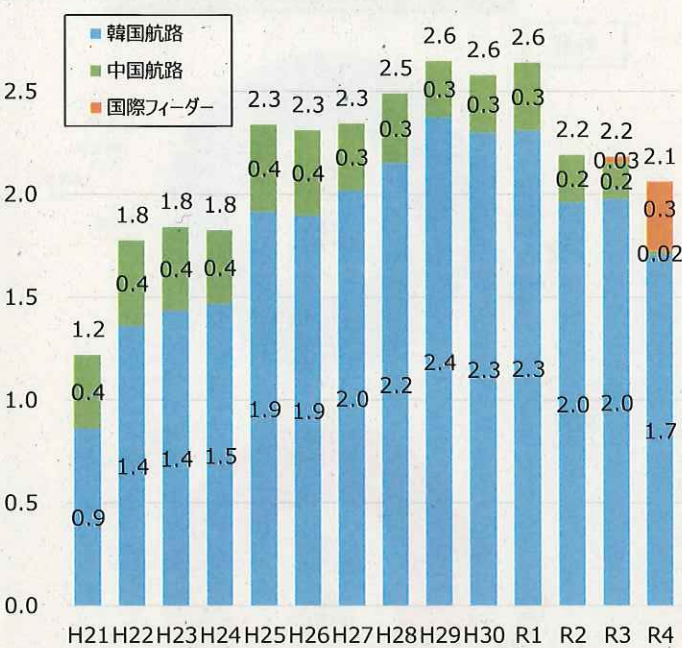
## 境港と世界を結ぶ定期船航路図



航路	寄港日	船名	積載能力	総トン数	運航船社
韓国航路	水	SUNNY CLOVER	1,000TEU	9,865トン	高麗海運株式会社
		SUNNY LILY	1,009TEU	9,988トン	南星海運株式会社
		STAR VOYAGER	1,000TEU	9,955トン	※協調配船
韓国航路	金	SUNNY LINDEN	342TEU	3,966トン	高麗海運株式会社
		QINGDAO TRADER	1,084TEU	9,944トン	興亜LINE株式会社
		SINOKOR VLADIVOSTOK	834TEU	9,039トン	長崎商船株式会社
韓・中航路	月	HEUNG-A JANICE	1,003TEU	9,998トン	※協調配船
		PACIFIC MONAGO	724EU	7,532トン	
		SUNNY IVY	1,096TEU	9,528トン	高麗海運株式会社
		SUNNY LAVENDER	1,000TEU	9,865トン	南星海運株式会社
国際フィーダー航路	水	STAR CHALLENGER	1,000TEU	9,955トン	※協調配船
		STAR PIONEER	953TEU	9,520トン	
		STAR CLIPPER	962TEU	9,520トン	
国際フィーダー航路	水	だいこく	189TEU	749トン	井本商運株式会社

- 実入コンテナの輸出と輸入の取扱個数は概ね同数となっている。
- 主要品目は、[輸出]紙・パルプ、木製品、[輸入]木製品、鉄鋼、非金属鉱物。

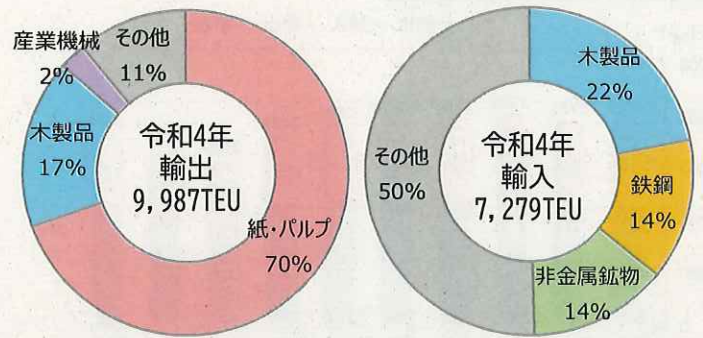
(万TEU) コンテナ取扱貨物量推移 (実入り)



※令和2~4年はコロナウイルス感染拡大の影響により貨物量が減少

【出典】境港管理組合HP

外貿公共コンテナ取扱個数の内訳 (令和4年：実入り)



【参考】

- R4コンテナ取扱量 (全体数量) : 20,618TEU
- 韓国航路 : 17,067TEU (全体の82.7%)  
(輸出: 紙・パルプ、木製品、水産品)  
(輸入: 木製品、鉄鋼、科学工業品)
- 中国航路 : 199TEU (全体の1.0%)  
(輸出: 紙・パルプ、電気製品、その他製造工業品)  
(輸入: 電気機械、家具装飾品、鉄鋼)
- 国際フィーダー航路 : 3,352TEU (全体の16.3%)  
(移出: 紙・パルプ、木製品)  
(移入: 建築資材、澱粉)

【出典】境港管理組合HP

## 国際フィーダー航路の新規就航

- 神戸港、境港、京都舞鶴港、敦賀港の間で日本海側では初となる国際フィーダー航路が新規就航。
- 2021年11月より試験運航を開始し、2022年3月より定期化。
- 境港管理組合では、岸壁使用料、荷役機械使用料の減免措置等による支援を実施。

### 境港経由 週1便定期化

#### 国際フィーダー航路、日本海側初

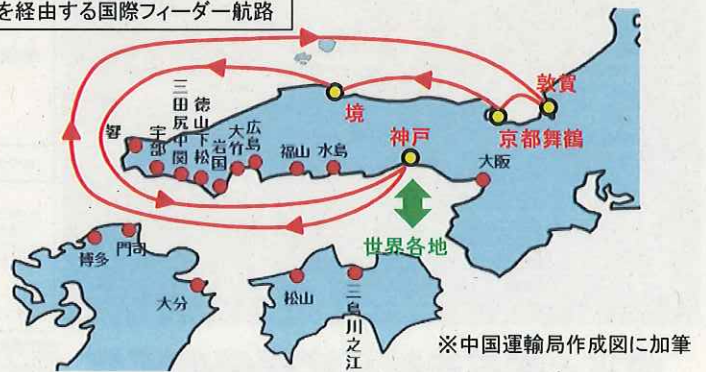
【概要】  
境港管理組合は、日本海側初の国際フィーダー航路を、2022年3月より定期化して就航させる。この航路は、神戸港・境港・京都舞鶴港・敦賀港を結ぶ。境港は、この航路の日本海側の玄関口として、重要な役割を果たす。

【特徴】  
1. 日本海側初の国際フィーダー航路  
2. 週1便の定期航路  
3. 境港を主要な据りとする

【支援】  
境港管理組合は、この航路の就航を支援するため、岸壁使用料、荷役機械使用料の減免措置を実施している。

【出典】  
令和4年3月6日 日本海新聞 朝刊1面

境港を経由する国際フィーダー航路



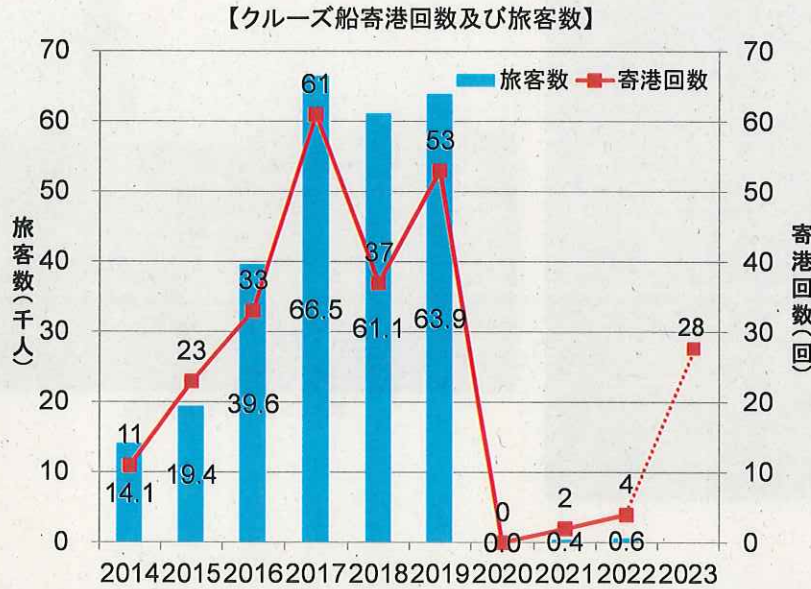
R4.3月 国際フィーダー航路定期化



月別コンテナ取扱貨物量の推移 (国際フィーダー航路のみ・実入り) (TEU)

- ＜運航スケジュール＞  
神戸港(土)～敦賀港(月or火)～京都舞鶴港(火)～境港(水)～神戸港(土)
- ＜主な取扱貨物＞  
パルプ、木製品

- 2017年は年間61回の寄港、約6.6万人のクルーズ旅客が訪れ、全国でも有数のクルーズ船寄港地となっており、山陰地域における人流の拠点としても重要な役割を担っている。
- 境港におけるクルーズ船の寄港回数は2013年から大幅に増加しており、山陰地域では最も多い。
- 2021年4月には、竹内南地区において供用を開始した「境夢みなとターミナル」に「飛鳥Ⅱ」が初寄港。
- 2023年3月には、約3年半ぶりの外航クルーズ船となる「ウエステルダム」が寄港。2023年は28回の寄港が予定されている。



2023年3月22日「ウエステルダム」寄港状況

## 直轄事業:境港予防保全事業 <外港昭和南地区岸壁(-13m)(改良)>

事業期間: R2~R5 / 全体事業費: 10億円

### 事業概要

山陰地方の中央に位置する境港は、背後圏に製紙、木材加工、鉄鋼等、多くの企業が立地し、原材料の輸入や製品の輸出等を通じ、地域の経済活動を支えている。岸壁(水深13m)は供用開始後36年が経過し、**エプロン舗装の老朽化が進行している**。このため、荷役作業等の港湾機能に支障が生じないよう、**港湾施設の老朽化対策**を行う。



施工状況: 路盤材転圧



施工状況: コンクリート舗装版据付

### 期待される整備効果

本事業により、**既設港湾施設の延命化及び維持管理コストの低減**が図られる。

事業期間：R5～R9 / 全体事業費：21億円

事業概要

境港の防波堤(2)は、全長3,850mに及び、港内での安全で安定的な荷役作業に寄与している。しかし、整備着手から54年が経過しており、本体コンクリートの劣化損傷や堤体の沈下が発生している。このため、港湾機能に支障が生じないよう、港湾施設の老朽化対策を行う。



本体コンクリートの劣化状況

期待される整備効果

本事業により、既設港湾施設の延命化及び維持管理コストの低減が図られる。

みなとオアシス境港



国土地理院地図 (電子国土Web) (<https://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

【基本情報】	
設置者	境港市
運営者	みなとオアシス境港運営委員会
所在港湾	境港【重要港湾】
港湾管理者	境港管理組合
登録日	平成25年6月27日 (中国地方整備局長) 平成29年2月16日 (港湾局長)



■ みなとオアシス代表施設  
■ みなとオアシス構成施設

【代表施設】



みなとさかい交流館



夢みなとタワー

【主なイベント】



みなと祭



境港おさかなロード大漁祭



境港ペロン大会

## Sea級グルメ全国大会とは

- 「みなとオアシス」が位置する地元の食材や、地元産品でつくられた“Sea”の要素を含む「Sea級グルメ」を全国各地から持ち寄り、食の大会を開催。(主催:全国みなとオアシス協議会)
- 中国地方においては、第1回大会(平成23年)を「みなとオアシス三原」、第5回大会(平成26年)を「みなとオアシス瀬戸田」、第9回大会(平成28年)を「みなとオアシス宇野」で開催しており、**第15回大会を「みなとオアシス境港」で令和6年11月9日(土)～10日(日)に開催予定**

## 会場予定地(境夢みなとターミナル周辺)



## Sea級グルメの一例



境港炙り酒け井  
(みなとオアシス境港)



山陰浜田港あんこう鍋  
(みなとオアシス浜田)



多幸のみ焼き  
(みなとオアシス瀬戸田)



瀬戸内かき塩ラーメン  
(みなとオアシス三原)



ホッキしゅうまい  
(みなとオアシス舌小牧)



フリ玉丼  
(みなとオアシス佐原両津)



沼津小判めし  
(みなとオアシス沼津)



鯛そうめん  
(みなとオアシス三原、まきさかいや塩備)

(参考) 第13回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in八幡浜  
→令和4年11月12日～13日の2日間で約3.5万人が来訪



